

古沢 利之 議員（代表質問）

1 防災・減災対策について

- (1) 国は日本海側の地震・津波調査を今年度から開始した。魚津断層帯についても昨年9月に調査し、概要を今年度中にも公表との見通しとされている。情報は得ているか。
- (2) 原子力災害対策について、「県との協議が整った」とのことだが具体的にはどういうことか。
- (3) 新たな「津波対策班」の具体的な役割、規模は。

2 新たな農業・農村政策について

- (1) 米の直接支払い交付金の減額で市全体への影響をどう見ているか。減額分をどう支援するか。
- (2) 「農地中間管理機構」の位置づけ、役割は。
 - ア 耕作放棄地、条件不利地域の活用が図られるか。
 - イ 市町村に委託できるとされているが、可能か。
 - ウ 市農業公社との関係は。
- (3) 多面的機能支払い（農地維持支払、資源向上支払）の活用をどのようにすすめるか。

3 国民健康保険について

- (1) 9月議会で、23、24年度の一般会計からの繰り入れによる調整交付金のペナルティーを精査するとされたが、結果は出たか。
- (2) 一般会計からの繰り入れは、考えないのか。

水野 達夫 議員（代表質問）

1 新年度予算編成方針及び「新しい4年間のお約束」の予算化方針について

- (1) 平成26年度予算編成にあたっての特徴、及び特に苦労した点はあるか。
- (2) 現在の財政状況に関する市長の見解はどうか。特に、実質単年度収支、特別会計を含めた公債費について、過去からの推移を見て今後の対応を問う。
- (3) 2期目のマニフェスト「新しい4年間のお約束」で掲げた事業等の予算化にかかる年次計画は今後どうなるのか。

2 土曜学習モデル事業について

- (1) モデル事業の内容はどのようなものか。また、県内でいち早く実施する理由を問う。
- (2) モデル事業を実施する時期はいつ頃からか。
- (3) モデル事業を実施するにあたり、スポーツ少年団等を始めとした各種団体等の行事との調整はどうするのか。
- (4) 保護者と子どもたち、及び教職員への説明はどうするのか。

3 図書館構想の現況について

- (1) 子ども図書館に関する予算が、今定例会において減額補正された。「新しい4年間のお約束」に掲げてある子ども図書館の構想は今後どう進んでいくのか。
- (2) 既存の図書館の全面見直しについても「新しい4年間のお約束」に掲げてある。この実施時期及び概要はどのようなものか。

4 田中小学校木造校舎の利活用方針

について

- (1) 平成 26 年度は、3 ヶ年の継続事業の最終年度である。木造校舎の利活用に向けた今後のスケジュールを問う。
- (2) 市長の提案理由では、記念館として保存するとの説明であった。これまでに木造校舎の利活用に関して、地域の方々や保護者の意見等を聴く機会があったのか。
- (3) キラリンの生みの親は、田中小学校（当時）の児童とその母親である。例えば、木造校舎の一部を「仮称 キラリン館」として、キラリンの紹介コーナーやキラリングッズの販売等で常時活用することは可能か。

青山 幸生 議員（一般質問）

1 滑川市の観光について

- (1) 来年春開通の北陸新幹線開業に向けての観光面をどう考えているのか。
- (2) まちの魅力UPプロジェクトの企画立案の進捗状況はどうか。
- (3) ほたるいかミュージアムの今後の展望をどう考えているのか。
- (4) 老朽化が進行しているタラソピアの状況と収益性はどうか。
- (5) ホタルイカオフシーズンの観光資源をどのように考えているのか。
- (6) キラリンはイコール滑川になっているのか。また他のシンボルマークとの整合性はどうか。
- (7) 今後のキラリンの活用について、どのように考えているのか。

2 安全な通学路について

- (1) 通学路の対策箇所の進捗状況はどうか。
- (2) 人通りが少なく、見通しの悪い箇所の対策として不審者対策の教育の徹底となっているがどのような内容か。
- (3) スクールゾーンについて、新たな交通安全モラルゾーンを構築してはどうか。

原 明 議員（一般質問）

1 地球にやさしいまちづくりについて

- ・ 電気自動車（EV）と、プラグインハイブリッド（PHV）の充電器設置の推進について

2 特色ある学校づくり推進事業について

- （1） 特色ある学校づくり推進事業の成果と今後の取り組みについて
- （2） 郷土芸能にかかる学習の取り組みについて

3 農林業の振興について

- （1） 日本型直接支払制度（多面的機能支払制度について）
 - ア 説明会の対象者と参加者数
 - イ 説明会の内容と参加者の意見
- （2） 農地・水保全管理支払制度への取り組み状況について
- （3） 松くい虫被害について
 - ・ 被害状況とその原因と対策について

角川 真人 議員（一般質問）

1 市民生活について

- (1) 増加している高齢者の交通事故への対策をどのように行っていくのか。
- (2) 生活保護世帯が増加し続けている現状を踏まえ、就労支援等をどう行っていくのか。

2 介護保険について

- ・ 「要支援」とされている方への保険給付が外されそうになっているが、その方への対応はどのようにするのか。

谷川 伸治 議員（一般質問）

1 シャンバーグ市との姉妹都市交流 研修事業について

- (1) 交流事業策定の進捗状況について
- (2) 事業内容について
 - ア 相互交流についてどう考えるのか。
 - イ 派遣対象者及び人数について
 - ウ 研修時期と日数
 - エ 経費と負担割合について

2 滑川市における観光事業について

- (1) ほたるいか海上観光に対する現状と趣向について
 - ア 予約状況及び本市での宿泊予約状況について
 - イ 乗船客に対する趣向企画の内容について
 - ウ 民間業者との連携について
- (2) ほたるいかミュージアムの現状と今後の取り組みについて
 - ア 入館者数と客層について
 - イ 企画内容について
- (3) 官民連携による観光事業の推進について

中川 勲 議員（一般質問）

1 市民の安全・安心について

- (1) 東日本大震災から3年経過した今、滑川市としての今後の取り組みと決意を問う。
- (2) 「津波対策班を設け、総合的な津波対策を進める」とあるが、具体的にはどうされるのか。
- (3) 原子力災害対策について、「県との調整が整った」とのことであるが、滑川市にどう関わりがあるのか。
- (4) 防犯カメラの効果が大きいと言われているが、市内に設置しなければならないところがあるのではないか。

2 産業の振興について

- (1) 「企業団地の造成による企業誘致の推進」とあるが、予定はあるのか。
- (2) まちの魅力UPプロジェクトは、具体的には何をされるのか。
- (3) 北陸新幹線開業に合わせた、市内観光のあり方を考えているのか。

3 教育文化の向上について

- (1) 「いじめ防止基本方針」が策定されたとのことであるが、どのような内容か。
- (2) いじめはまだあるのか、また部活での体罰問題が一時大きな問題になっていたが、滑川市ではどうか。

尾崎 照雄 議員（一般質問）

1 地域包括ケアシステムについて

- (1) 本市において、2025年問題はどのように受け止めているのか。
- (2) 「24時間対応の定期巡回・随時対応型訪問介護・看護サービス」が、今後の地域包括ケアシステムの中核部分を担う仕組みとして期待されているが、その展望は。
- (3) 国の介護保険の要支援向けサービスを市町村の事業に移管する見直し案は、本市にどのような影響をもたらすのか。

2 防災士について

- ・ 「防災士」の養成について、具体的にどのような目標、計画で進めていくのか。

3 子ども政策

- ・ 市長の掲げた2期目のマニフェストのなかに、小・中学生を対象に夜間照明、体育館の使用、文化部の大会前のホール使用を無料化とあるが、いつから始めるのか。

4 防犯灯・街灯のLED化について

- ・ 市内にある、防犯灯・街灯をすべてLED化にしてはどうか。

竹原 正人 議員（一般質問）

1 市税の収納状況について

- (1) ここ数年の市税の滞納状況において、原因となる理由と検証は。
- (2) 市税の収納率を上げる取り組みと、今後の課題は。

2 子どもたちの学力向上について

- (1) 平成26年度より、小・中学校において土曜学習モデル事業が実施されるが、その目的と内容は。
- (2) 小学校では英語学習が導入され、高学年のみならず、低学年から慣れ親しむ環境づくりが必要と考えるが、今後の展望は。
- (3) 学力向上のために、学力向上プラン研究事業など色々な取り組みをされているが、その成果は。

3 スポーツの競技力向上について

- ・ スポーツ・健康の森公園も整備され、市内のスポーツ施設が充実した。それらの施設を十分に利活用し、各スポーツ種目の競技力の向上にどうつなげていくのか。

4 観光振興について

- (1) 北陸新幹線開業に向け、富山県を含め、駅を抱える自治体や近隣の自治体は、観光客の誘致に向けイベント等を打ち出し盛り上がりを見せているが、滑川市の状況は。
- (2) 滑川市の観光資源について、年間を通して観光客を誘致できるのか。現状と今後の展望は。
- (3) 首都圏からの移動手段として北陸新幹線が新たに加わるが、現状の空の便や車などの移動手段は色々ある。とりわけ公共交通機関が少ない

滑川市においては車を利用しての高速道路の利用も欠かせない。市内の特産物等をPRするために、サービスエリア等での物販の拡充と、外部(一般道)から車での往来がしやすいよう、進入路の整備はできないか。

5 地域の安全・安心について

- (1) 冬期になると中学生や高校生などの学生が、自転車通学ができず、親や家族の車での送迎が不可欠である。より利便性を高めるために、コミュニティバスを冬季ダイヤ等に切りかえるなど、学校や駅まで通う学生へ配慮はできないか。
- (2) 最近の特殊詐欺について、市民が被害に遭わないための取り組みは。

開田 晃江 議員（一般質問）

1 防災対策について

- (1) 津波浸水想定区域内の避難場所の見直しについて
- (2) 人の集まる場所、学校、幼稚園、保育所、もちろん市役所などに防災士を順次配置できないか。
 - ア 防災士の資格取得要件と受講料に対する補助体制は。
 - イ 昨年富山県で受講できたと聞いている。滑川市からの受講人数は。
 - ウ 現在、防災士の資格取得者は何人か。
- (3) 今の異常気象に対して、太平洋側の自治体との災害協定を結ぶ時代になったのではないか。
 - ア 現在の滑川市の状況は。
 - イ 姉妹都市との関係は。
 - ウ 今までに、他の自治体からそのような申し出はあったか。

2 コミュニティバスについて

- (1) バスの運行計画の策定に際して、乗務員も参加して時刻表、乗降実情など現場の声を聞くべきでは。（ゆとりが第一）
- (2) バスにキラリンのラッピングをとあるが、どのように計画をしているのか、魚津市や上市町のコミュニティバスのように特色あるものにしてもらいたい。
- (3) 滑川市が全国へ発信できるものが『ホタルイカ』であり、真っ青なバスに光るホタルイカもラッピングの候補に！

3 観光について

- ・ ものづくりのまち滑川市の産業観光を考えたとき、市役所に観光課の設置を！

4 市長のマニフェストから

- ・ 市民の声から
 - ア 第3子の保育料の無料化はいつからか。
 - イ スポーツ少年団の会場使用料の無料化はいつ頃か。
 - ウ シャンバーグの派遣を、何とか平成26年度から実現できないか。(現在中学2年生からの声)
 - エ 『いをのみ公園』の拡張・整備のなかで、公園の一角に喫茶コーナーを設けてほしい。(ドトールコーヒー、スターバックス、光彩喫茶部は)

高木 悦子 議員（一般質問）

1 北陸新幹線開業を見据えた取り組みを！

- (1) 北陸新幹線開業まで一年となったが、年間輸送能力が 1800 万席と言われる交流人口増加のチャンスに向けた、滑川市の具体的な観光戦略は何か？
- (2) ほたるいかミュージアム、タラソピア、アクアポケットの三施設について、老朽設備等の「必要な更新等」を実施していくとしているが、積極的な観光施策に転じる考えはないのか？
- (3) 滑川市の玄関口とも言える滑川駅前に降り立った景色が、観光客を迎え入れる状態になっていないのではないかと。滑川市の顔作りをどう考えているのか。
- (4) もう一つの玄関口である地鉄中滑川駅の駅舎は完成するが、隣接する農協会館等の跡地活用について、滑川市としての考えを持っているのか。
- (5) 観光はピンポイントではなく、モデルルートの確立が必須だと考えるが、県東部を中心とした他の自治体との連携体制はどのようなものか？観光客に訴える具体的な動きがなかなか見えてこないが、滑川市を県外にPRする体制は整っているのか？
- (6) 経済界が中心となって、今秋に「日本ジオパーク」の認定に向けた活動を進めている「立山黒部ジオパーク構想」に、県東部の自治体の中で滑川市だけが協力的ではないと聞いているが、事実か？事実であれば協力できない理由は何か？

2 「子ども・子育て支援事業計画」の策定について

- (1) 核家族と共働き世帯が圧倒的多数を占める中において、働く女性と働く男性の「ワーク・ライフ・バランス」を抜きにした子育て支援はあり得ないとする。家庭の中や自治体だけではなく、企業における「子育て支援体制」の整備が急務と考えるが、滑川市内の企業における取り組みの現状はどうか？

- (2) 滑川市として、企業の子育て支援に対する取り組みを後押しするために、働きかけをしているか？あるいは企業に対する相談・助成の体制は整えているのか？
- (3) 「子ども・子育て支援事業計画」の策定において、是非とも企業経営者の協力を得られるよう、計画に盛り込む考えはないか。

3 まちと産業を元気にするために

- (1) 子どもたちの「将来なりたい職業」は、サラリーマンではない。まちと産業を元気にするには、「起業」をしたいとする人の芽を摘まないことが重要だと考える。工場見学だけではなく、起業をするということへ促す取り組みは出来ないものか？
- (2) 女性や若い人たちの中に起業したいという機運はある。滑川市として、新規開業や起業を支援する体制は整っているのか？
- (3) 中心市街地の空き店舗を活用したチャレンジショップや、共同オフィスの提供など、資金的にゆとりのない若年層の起業を支援するとともに、まちを活性化する政策は展開できないか？

中島 勲 議員（一般質問）

1 市長の政治姿勢について

- ・ 市長にとって市政をつかさどる中で“善政”とは何なのか。

2 児童福祉について

- ・ 子ども・子育て支援法に基づき「事業計画」を策定とあるが、そのスケジュールはどのようなになるのか。

3 教育文化の向上について

- (1) 「土曜学習モデル事業」を実施するにあたって、どのような検討がなされたのか。
- (2) 教育的配慮を要する児童・生徒に対する支援体制は万全か。
 - ア スタディ・メイトの支援体制の実情と課題があるとすればどのような内容か。
 - イ 2名体制で通級指導が実施されているが、現状と課題があるとすればどのような内容か。
- (3) 学校図書館について
 - ア 司書4人体制で小中学校9校への対応はできているのか。
 - イ 水野文庫設置以来、図書の購入費が減ったままだが、今後どうするのか。
- (4) 田中小学校の木造校舎について
 - ア どのような形で保存を考えているのか。
 - イ 夜間開放施設となっている教室はどうなるのか。

